

いしずえ 第604号 2017年7月8月合併号

平和祈願ミサに向けて

主任司祭 吉池 好高

酷暑の日々、お変わりございませんでしょうか。

いしずえ7・8月合併号の紙面をお借りして、8月11日の山の日に予定されている武蔵野南宣教協力体の平和旬間ミサのお知らせを申し上げます。8月11日午前11時より、高円寺教会において、森一弘司教様をお迎えして、協力体各小教区司祭団による共同司式ミサをおささげいたします。例年のようにミサ後、お集まりいただいた皆さまの交流会も予定いたしております。今年は高円寺教会の当番に当たっておりますので、大勢の皆様のご参加をお願い申し上げます。交流会では、戦中戦後の食糧難の時代を身をもって思い出すため、「すいとん」を分かち合うことにしております。準備等ご協力いただける方を募集いたしております。有志の方は森副委員長までお申し出ください。

平和祈願のミサを心を込めておささげするために、平和への思いを新たにたしましょう。教皇ヨハネパウロ二世の広島でのおことばにあったように、戦争は人間の仕業であるなら、戦争を抑止するのも、わたしたち人間の務めです。そのための力をわたしたちはどこに見出すことができるでしょうか。わたしたちの信仰は、わたしたちは皆、神の愛によって創造されていることを信じる信仰です。この世界のすべてを神の愛の眼差しの中に受け止める信仰です。この世界は神の御眼にどのように映っているでしょうか。立ち止まって、思いをひそめて、神の悲しみの御心を知らなければなりません。愛する者たちが互いに争い傷つけあい、傷ついているさまを創造主である神はどのようにごらんになっておられるでしょうか。

愛そのものである神は、まさに、いてもたってもいられずに、争いの絶えないこの世界に一人の人間となって飛び込まれたのです。そのような神をわたしたちは信じているはずですが、この世界のことで神に関わりがないことは何一つないのです。

そのような神を真実信じる者たちとして、わたしたちはこの世界の平和を願わずにはいられません。この世界の現実を前にして、自分とは関わりがないと言ってはならないのです。